そら植物園

office N seijun

© SORA BOTANICAL GARDEN Project Inc. All Rights Reserved.　© ofiice N seijun Inc. All Rights Reserved.

そら植物園は「ひとの心に植物を植える」をコンセプトに、プラントハンター西畠清順が立ち上げた活動です。
植物を届けることはもちろん、ランドスケープのデザインや造園工事など、各種緑化事業、イベントや撮影現場での空間演出、講演・執筆活動、植物にまつわるあらゆるアドバイザー業務など、企業、行政機関を中心に様々なクライアントから寄せられる多様な依頼を、これまでになかった切り口で次々と成功させ、植物の素晴らしさと魅力を広げる活動を続けています。
2012年よりスタートしたこの活動は、およそ10年で約1,000件を超えるさまざまなプロジェクトを世界中に届けてきました。
ここでは、そのプロジェクトの一部をご紹介いたします。

事業内容

- ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事
- 植物卸販売 / プロダクト供給
- 空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾
- レンタルグリーン
- 植栽管理
- メディア出演
- 出版 / 寄稿
- 講演/イベント出演
- 商品開発
- コンサルティング / 顧問
- プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー
- ランドスケープデザイン（造園設計）
- その他

ランドスケープデザイン（造園設計）＋ 施工 / 造園工事

店舗やホテルなどの商業施設や集合住宅、神社仏閣から公共施設、文化施設から個人邸に到るまで、規模やジャンル、
条件に関わらず様々な場面においての造園工事・緑化事業の設計施工をトータルで承っています。

神戸のランドマークである神戸国際会館の11階屋上ガーデンが、阪神淡路大震災から20年目となる2015年、大改修工事を経て、「楽園」というコンセプトで新たに生まれ変わった。屋上ガーデンという特殊な空間に、世界各国の植物が共存。シンボルツリーとしてお客様を迎えるのは、神戸とも縁が深く、平和と繁栄の象徴とされる推定樹齢500年のオリーブの木。施設オープン後、隣接する飲食店の売り上げが10％以上アップした。

神戸国際会館

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

神戸国際会館

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

緑豊かな武蔵野の地から世界に発信するクールジャパンの拠点として、KADOKAWAグループが手掛けた巨大な複合商業施設における造園の設計施工を手掛け、外構計画を主としたコンサルティング業務もおこなった。角川武蔵野ミュージアムを手掛けた隈研吾氏、その館長である松岡正剛氏、アドバイザーである荒俣宏氏をはじめとして足掛け5年に渡る協議を経て造園工事に着手。敷地に鎮座する武蔵野坐令和神社の周囲に広がる緑地には命の源を表す水の流れをつくりそれを見守るような一本桜と名付けた巨大なベニシダレザクラを植樹。広場のシンボルツリーにはクリスマツリーになる樹齢約200年のコウヤマキの植樹に成功した。敷地西側には二十四節気で折々の花や実をつける季節の小径を、南側の緑地には周辺住宅地とのパーテーションも兼ねてドングリとクリの森を、広い屋上の緑地には省管理型のランドスケープデザインを創出。メインストリートにはところざわサクラタウンと言う名の通り、全長約220mにも及ぶ長寿のシダレザクラの並木を作り千人テラスからも眺めれるようになっている。
また、KADOKAWAの創業者である角川源義氏を記念した源義庭園には「ロダンの首 泰山木は 花得たり」の句碑に合わせて泰山木のシンボルツリーと矮性種のタイサンボクの生垣を施すなど、敷地全体に散りばめられた中高木約500本は全て細部までコンセプトと生育条件にこだわり、不易流行を経営理念として掲げるKADOKAWAグループの精神を引き込んだ唯一無二の植栽計画となった。

ところざわサクラタウン

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

ところざわサクラタウン

BOTANICAL POOL CLUB

ランドスケープデザイン（造園設計） + 施工 / 造園工事 | プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

BOTANICAL POOL CLUB

ランドスケープデザイン（造園設計） + 施工 / 造園工事 | プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

奈良平城京跡南東端にある、日本式庭園の祖と言われる東院庭園。1967年に発掘され再現されたその古代の庭に佇む、おそらく日本最古のものであろう築山石組に着想を得てこの奈良蔦屋庭園を作庭した。当時使用された石材を、文化庁を通じて安山石（葛城石）と特定して調達し、植栽は四季折々の一木が毎月のように入れ替わる。基台素材は吉野杉と吉野桧、八角柱も東院さながらのチャームポイント。

奈良 蔦屋書店

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事 | レンタルグリーン

2022年4月に新たに設立されたパナソニック エナジー株式会社の住之江工場敷地内に公園を新設した。
「未来を変えるエナジーになる。」というビジョンを視覚化するべく、守口市にある本社工場に引き続き、住之江工場でも働く一人一人がより良い環境で就業できるような公園の設計プロデュースを行なった。季節を問わず様々な植物が見頃を迎え、また、スタッフ自身が手入れをするためのスペースもあり、ただ休憩する場所という位置付けではなく、スタッフ自身も植物と触れ合える環境づくりを目指した。また、世界を支える電池を作るためには、働くスタッフの心身のエナジーを充電する場所が必要だと考え、開閉式のパーゴラをはじめ休憩スペースの創出だけでなく、健康器具を設置することでリフレッシュができるよう工夫を凝らした。

ENERGY OASIS

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事

日本における二大出版取次会社の一つ、日本出版販売株式会社の物流拠点の中枢を担う「日販王子流通センター」のリニューアルプロジェクトにて植栽計画をプロデュースした。
物流施設でのCo2排出量の削減や脱プラスチックに取り組み、また地域社会との交流を大切にするクライアントの要望をもとに、そら植物園では「環境に配慮した植栽セレクト」「安らぎの植栽とランドスケープ」「夜の空間を照らす灯り」「地域の人たちに愛される場」というポイントを大切にしながら、植栽計画において環境やコスト、工期スケジュールに対して新たなチャレンジを試みた。
植栽とランドスケープにおいては、訪れた職員が快適に過ごせるよう芝生を整えつつも、低木地被類は多肉植物で構成し、雨水だけで植物が自然と育ち、必要以上に人の手がかかることなく、余計な水資源を使うことがない有機的な仕組みとデザインを実現。
中高木の植栽としてセレクトされたポニーテールのような長い葉をもつ「トックリラン」も低木地被類同様に、必要以上に手がかからず、かつわずかな土厚でも成長する屋上という環境にふさわしい植物を設計に取り入れた。
また、夜間も稼働する工場だからこそ、昼だけでなく夜間に作業をされる方が一息つき、ゆったりとリラックスできるよう屋上空間の照明計画も工夫を凝らした。

日販王子流通センター

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

日販王子流通センター

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事

自社の社員はもちろん、エージェント、メーカーといった数多くのパートナーが行き来するアスクルのオフィスに相応しく、その共存関係を「森の生態系」に見立て、多様性ある森のような緑化計画のプランニングから実装までを担った。クリエイティブエージェント株式会社2100のディレクションのもと、「明日の地球を意識する、新しいアスクルの向かうべきパーパスをオフィスエントランスで体現したい」というミッションを、実際の樹種やレイアウト、ボリュームに落とし込み、最終的に木性シダを中心とした森を形成する主木に様々な中低木や地被類が着生し、支え合い共存する森の実現に成功した。
仕入れた観葉植物をただ並べるだけの予定調和な緑化ではなく、対荷重、耐陰性はもちろん水漏れや病害虫などのあらゆる要素を軽やかにクリアし、メンテナンスが容易ながらもコンセプチュアルな植栽計画となっている。また、エントランスのフォレストゾーンの他、オフィス全体に、交流の場には季節の一木を楽しめるパークゾーン、個人ブースには緑量の多いジャングルゾーン、休憩場所には街角のカフェのような緑化のクロッシングゾーンなどを設けた。さらには、社内でエンゲー部（園芸とエンゲージメントの意）を立ち上げ、西畠清順やそら植物園スタッフと共に実際の搬入から制作、その後のメンテナンスまでを担い、社内のコミュニケーションの在り方やこの時代の考えるべきオフィスの意義の在り方を導く理想的なモデルとなっている。

アスクルオフィス

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事　| レンタルグリーン

人気ゲームシリーズ・ドラゴンクエストの誕生30周年を記念して2017年に淡路島・洲本市民広場内に設置された「ドラゴンクエスト誕生30周年記念碑」。 2021年に同シリーズが35周年を迎えたことを記念し、記念碑周辺の植栽計画リニューアルを手がけた。人気ゲームの世界観を大切にし ながら、実際にゲームに出てくる植物 からモチーフとなった植物を同定、もしくは着想し、環境にあった植栽を提案。リニューアル後は、ゲームをイメージしたライトアップをするなど、モニュメント周りを計算 された植栽計画にすることで人気のフォトスポットとなっている。

兵庫県淡路島の洲本市民広場に隣接する巨大な紡糸工場跡を利用した「すもとアルファビアミュージアム」。
そのリニューアルプロジェクトに際して、”New Nostalgia”をガーデンのテーマにレトロな外観の施設に寄り添い、どこか懐かしさを感じるガーデンデザインを実現した。周辺の既存樹木の生育状況を鑑みつつ統一性のない樹種と配置を逆手にとり淡路島の気候にあった植栽を適所に配置しながらも、明治時代から残る赤レンガ建築を引き立たせるための壁面緑化や古木を取り入れ、レンガを使った花壇工事、舗装工事を企画設計、完成させた。

ドラクエの庭 / S BRICK

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事 | プロジェクトプロデュース / ディレクション / アドバイザリー

兵庫県淡路島の西海岸に新しくオープンした商業施設「Frogs FARM」の街路樹と施設内にある飲食店の外構植栽を手がけた。
施設に隣接した歩道は約2kmにわたり、こだわりをもって選んだ樹形のサルスベリが街路樹として植栽し、施設内の田恭通氏率いる株式会社グラマラスが手掛けた店舗の外構にはトウジュロのみを用いたドライガーデンを作庭、街路樹と共に潮風に強く、そして地域の環境に根ざした植栽でモダンな印象の植栽計画を創出した。

Frogs FARM

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事 | 植栽管理

日本初のピーナッツホテルの、最上階にあるスペシャルルームのテラス植栽を担当。
白をテーマカラーに、白い花壇、白いデッキ、白いルーバーをベースに、植栽には風になびきやすく丸い葉でやさしい印象を与えるユーカリ・ポリアンセモスを、マルチングには白いビー玉を採用した。また、部屋からのテラスの見え方にこだわり、スヌーピーの生まれた西海岸が連想されるように曲がったヤシの木を配した。

©2018Peanuts Worldwide LLC

PEANUTS HOTEL 61 SPECIAL ROOM

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

京阪奈に、国内最大級の樹木葬専門霊園をプロデュースした。ツゲとインターロッキングで描かれた幾何学式庭園に、仏教寺院の墓地にも関わらず、無宗派でも歓迎する霊園のスタンスや、バリアフリーで車椅子の方もアクセスできるランドスケープデザインを存分に活かし、人の集いやすい霊園の在り方を提案している。シンボルには、樹齢約1000年のオリーブと、樹齢約500年の寄せ株オリーブが選ばれ、それらから採れたオリーブオイルでランプを灯し、ライトアップイベントなどをして地元の子供達を集めるなど、植栽計画とイベントのプログラムが相乗効果を生み出しているのも特徴である。

ハピネスパーク 千年オリーブの森

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

ハピネスパーク 千年オリーブの森

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

キセラ川西

Kisela Kawanishi

清順の地元、兵庫県川西市における都市部・約22ヘクタールの再開発事業において、「PFI事業」「低炭素のまちづくり」をキーワードに取り組んだプロジェクト。川西市より「キセラ川西まちづくり大使」として任命され、中央公園と呼ばれる大きな公園、ビオトープを体現したせせらぎ遊歩道南戦の植栽計画を担当。

また中央公園には日本一の里山といわれる川西市北部にある黒川地区の植生を再現するため、地元住民や市の職員とともに黒川地区独特の「台場クヌギ」、そして川西市のシンボルである「エドヒガン桜」などの巨木を、黒川地区より移植するプロジェクトにも挑戦し、2017年1月には市民とともに植樹式を行った。中央の大きな広場の下には災害時4,500人分の飲料水を2週間分確保できる巨大な貯水タンクが設備され、防災機能も兼ね備える。

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事 | 植栽管理

キセラ川西 せせらぎ公園

日本に4つ存在する国立博物館の一つ、「九州国立博物館」の「夜間開館」を記念して開催されるオープニングイベントのため、しだれ桜の群生を生かした庭園「雲海桜」をプロデュース。オープン日に合わせて開花を抑制させたしだれ桜を登場させ、新緑の中、夕陽に輝く特別な桜と、清順が語るその魅力を体感しに多くの人々が博物館へ押し寄せた。

九州国立博物館

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

東京表参道にオープンしたFENDIのストア装飾をプロデュース。
surreal（非日常性）texture（素材感）fusion（融合）の3つの要素に重きを置き、小原流の伊藤庭花氏とタッグを組み、有機物のみで製作したインスタレーション「FENDI meets organism by Ikebana」を展示した。世界を代表するファッションブランドFENDIと日本の生花が出会い、その世界観と自然物（有機物）がぶつかり合う、特別な空間が表参道に登場した。

FENDI Omotesando

アトレ恵比寿西館 8 階に位置する屋上庭園「アトレ空中花園」と4階テラス、外構をそら植物園が植栽プロデュース。空中花園は「日常 × 非日常」に寄り添うアトレに、あえて世界中から集めた様々な植物を使った“非日常”の花園を展開。シンボルツリーの推定樹齢500年オリーブと彫刻の恵比寿天様が恵比寿の街を空中から見守る。

アトレ恵比寿西館 アトレ空中花園

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事 | 植栽管理

兵庫県川西市の大規模まちづくりプロジェクト「キセラ川西」に寄り添う大型新築分譲マンション「キセラ川西オリヴィエ」の植栽をトータルプロデュース。アーバンスローライフをテーマに、植栽にカラーコードを設定し、それに基づいた植物をセレクトするなど、今までにないようなガーデンを提案した。清順はこのまちづくりプロジェクトの魅力アップのため、2014年秋に川西市から「キセラ川西まちづくり大使」に任命され、同年に川西市民文化賞を受賞した。

キセラ川西 オリヴィエ

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事 | 植栽管理

「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」で、35年連続一位を獲得した日本一のおもてなしの宿、加賀屋。その加賀屋が新たに立ち上げる「加賀屋別邸　松乃碧」の日本庭園を、そら植物園がプロデュースした。入り口に配された自然生えの「おむかえの松」をはじめ、「昭和天皇お手植えの松」、プラントハンターが運んできた「おもてなしの松」、加賀屋会長愛蔵の「近景の松」そして長谷川等伯の松林図屏風をイメージした「遠景の松」と、それぞれストーリーのある木を使用し庭園を演出。庭園内に据えられた前田家ゆかりの茶室からは七尾湾が一望できることから、その視点を生かした茶庭も手がけている。室内観葉植物には松の葉をイメージしたゴクラクチョウカ等をセレクト。一貫して「松」にちなんだ空間を作り上げた。

加賀屋別邸 松乃碧

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

加賀屋別邸 松乃碧

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

代々木駅から徒歩1分の敷地に7年間(当初予定)の暫定利用期間に音楽プロデューサーの小林武史氏がプロデュースした商業施設・代々木VILLAGE by kurkkuの屋外空間を担当。「共存」をテーマに、国境というボーダーを超えて世界各国の植物たちが一堂に集まり、東京都心で仲良く暮らす植栽計画を実現した。
デザインに重きを置かず、それぞれの国の植物が互いに寄り添い暮らし、新しいかたちの森を形成している。また、育った環境の違う植物をあえて一緒に植えることで、来園者を「心配」させるのもコンセプトの一つ。それぞれの植物には解説が添えられ、生きる植物図鑑のようにもなっている。オープン後、そのコンセプトと話題性から毎年40万人を動員し続け、都内を中心に商業施設と緑のあり方に大きな影響を与えた。植栽の入れ替えメンテナンスは一般市民のボランティアを募りおこなっていたが、毎回、参加希望者の応募が殺到し抽選制になるほどの人気ぶりとなった。施設2Fには、そら植物園インフォメーションセンター&カフェもあり、そら植物園の活動を知ることができるスペースも存在した。2020年末、熱烈なファンを中心に、惜しまれつつも次のステップに向けて閉館した。

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事 | 植栽管理 | レンタルグリーン

代々木 VILLAGE by kurkku

代々木 VILLAGE by kurkku

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事 | 植栽管理 | レンタルグリー

代々木 VILLAGE by kurkku

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事 | 植栽管理 | レンタルグリーン

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

現代アーティスト・名和晃平氏が手がける、神勝寺の境内に建つアートパビリオン「洸庭」を取り巻く、屋外庭園造りのコンサル業務と植栽の提供・工事監修を行った。既存の造園様式やランドスケープの概念に囚われない、全く新しい視点からの庭園構成を提案。もともと紅葉が有名な場所であることを逆手に取り、紅葉に混ぜて秋に咲く四季桜を植えることで、秋には桜と紅葉が共演する演出を提案、実行した。又、隣接する日本庭園との融合のあり方、その関係性や導線などを監修した。

神勝寺 禅と庭のミュージアム「洸庭」

theGREEN

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

リラックスとアクティブなライフスタイルを提供する新しい複合施設として千葉県印西市に誕生した「theGreen」の植栽の設計施工を担当した。
プレイパーク、しばふひろば、フットサルコート、カフェ、美容室、温浴施設、フィットネスジム、保育園などの店舗やサービスを提供する施設内に、建物とのバランスも考慮しつつ、theGreenという名前のイメージを保つため、一年を通した緑視率にこだわり、すべて常緑の植物を用いて設計、さらには生育後の最高樹高が高い樹種を意識して取り入れて計画、施工した。

theGREEN

ランドスケープデザイン（造園設計）＋施工 / 造園工事

2022年4月に新たに設立されたパナソニック エナジー株式会社の本社地区の施設内の緑化計画をプロデュースした。「未来を変えるエナジーになる。」というビジョンを視覚化すべく実現された植栽計画の中で、グループが今まで世の中を照らし続けてきた電池に比喩されたLED照明が未来の森を照らしている。このLEDの明かりには新しいアイディアや未来を産み出す小さな光の意味を持っている。
また、科学的根拠のもと、緑量が人に与える影響を考慮し、エントランス、食堂、リフレッシュスペースなどエリア別に植栽を配置し、働く一人一人がより良い環境でさらに環境への意識を持てるような空間を再現した。

パナソニックエナジー

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事 | 植栽管理 | レンタルグリーン

マリオット・インターナショナルの最高級グレードに位置づけられるラグジュアリーライフスタイルホテル「EDITION」のパブリックエリアに大胆な緑量のインテリア植栽を提供した。各ラウンジエリアが高密度の植栽のパーテーションで区切られることで、プライベート感とラグジュアリー感を引き立たせている。

東京エディション虎ノ門

植物卸販売 / プロダクト供給

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

代表の西畠清順がこれまでに培ってきたノウハウやネットワークを活かし、多様な開発やリノベーション案件、
催事や記念事業、映像や画像の作品づくりなど、ジャンルを問わず様々な企画においてプロジェクトに参画し、成功へと導きます。

日本とシンガポールの国交50周年というタイミングで、シンガポール政府が手がける植物園ガーデンズバイザベイにて催された桜の花見イベント。「開花調整」の技術と輸出入の経験を活かし、大量の桜とノウハウを提供、成功に導いた。イベントは各所でニュースとなり、期間中にリー・シェンロン首相も来場。入場規制が出る等、当時の過去最高動員数を記録した。

Gardens by the Bay “Blossom Beats”

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

2015年の開催時、当時の記録を塗り替え、最多動員数を記録した銀座のポーラミュージアム ・アネックスの企画展「ウルトラ植物博覧会」の第2回目。
2016年も展覧会のために、あらゆる希少植物が銀座に集結。SIMPLICITY 代表の緒方慎一郎氏が会場構成を担当し、前年とは全く違った空間のなか、陶芸家　内田鋼一氏が作り出す器と清順のセレクトした植物とのコラボレーションを楽しめるという、まさにウルトラな博覧会となった。

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー | 空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

ウルトラ植物博覧会2016 西畠清順と愉快な植物たち

NHKグループとそら植物園が「世界の植物文様」をテーマに企画した展覧会。
各国に存在する多様で不思議な文様を持った植物を科目別で展示する他、世界中から取り寄せた幹を文様にフォーカスして展示。また、文様植物と砂紋を合わせた枯山水のインスタレーションを公開した。写真家 塚田直寛氏と共に取り組む植物文様写真も会場に並び、会期わずか6日間で1万3千人以上が来場した。

プラントハンター西畠清順 世界の植物文様展

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー | 空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

母の日と旧暦の灌仏会が偶然重なる令和元年５月12日夕刻に清水寺ではじまったイベント、「暗闇の清水寺」～千本のカーネーションで祝う お釈迦さまの誕生日～ の企画とインスタレーションを担当。イベントに集まった参加者とともにライトを消した貸切の清水寺にて、普段は解放されない京都の街を一望できる西門から夕陽が落ちるのをゆっくりながめ、本堂での森清顕師のお経のあと、重要文化財である経堂にて、師と対談を行った。場の中央にしつらえたインスタレーションは、テーマに寄り添って、お釈迦様が生まれたルンビニーの花園をイメージした古い煉瓦の花壇に1000本のカーネーションを用いて制作した。また、インンドネシアで見つけた仏の印相に酷似した枯木を初披露し、参加者を驚かせた。

暗闇の清水寺

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

銀座・数寄屋橋交差点に位置するソニービルの建て替えプロジェクトの一環で2020年秋までの期間限定でオープンしたGinza Sony Park。コンセプトである「変わり続ける公園」を表現するプログラムのひとつとして、地上部を「買える公園」にしたいというソニーの依頼を受け、プロデュースした。公園に配置された植栽は一部の壁面緑化などを除き、樹木のプロフィールと価格が開示してあり、実際に購入できるようになっている。オープンが真夏という厳しい環境にも関わらず、植栽基盤の技術面において工夫を凝らし無事に施工を完了、さらに壁面の緑化にも寄与した。

Ginza Sony Park

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー | ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事

写真：川澄・小林研二写真事務所

ハイアットのセレクトサービスブランド「ハイアット プレイス™」が、2019年7月に千葉県浦安市に日本で初上陸するにあたり、「ハイアット プレイス 東京ベイ」の建築計画における植栽・外構のアドバイザーとして参画。協議を重ねる中で、ハイアットプレイスが持つブランドイメージのエッセンスや、立地条件、建築デザインに寄り添った植栽計画(樹種提案や配置計画)を立案し、外構計画の監修・植栽設計までを行った。建物の顔となるエントランス前の植栽帯を設け、駐車場へ導く車路沿いに３段階の高低差のレイヤーをつけた石組みのランドスケープデザインを立案。使用する高木のダイナミックな魅力を最大限に引き立てつつ、外周には同じリズムでヤシを配置、隣地建物の存在感を緩和させるための高木植栽の配置計画など、利用する人の目線を誘導する工夫も凝らした。

*ハイアット リージェンシー 東京ベイとして2021年4月再開業

ハイアット プレイス 東京ベイ

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー | ランドスケープデザイン（造園設計）| 植物卸販売 / プロダクト供給

福岡市内の埋立地、アイランドシティにて３ヶ月に渡り開催された植物の展覧会。清順が世界中から集めた、珍しい草木や巨木たちを中心に会場を構成。太古のゾーンを含む「世界７大陸」をめぐる冒険を体験するというまったく新しい着眼点の植物園を福岡に出現させ、開催のための協賛金は6,000万円を超えた。イベント期間中には、巨木パラボラッチョを福岡市内会場に登場させたことでも話題となり、会期中の総来場者数は６万人を記録した。

西畠清順の世界７大陸植物園!!

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー | 空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

韓国ソウル市内の一大リゾート地、WALKERHILLに建設されたアジア初上陸のWホテルをリブランディングするプロジェクトに参入。
クリエイティブディレクションを担当した(株)ケセラセラの掲げた「Sustainable Luxury」という新しいコンセプトに相応しく、ホテルを有機的に改装する計画で、メインロビーに巨木のモニュメントを配し、ソウルのアートデザインスタジオ KIMCHI AND CHIPSがプロジェクションマッピングを使った演出でコラボレーションした。また、屋上緑化のディレクションや各部屋のランクに合わせて飾られた植物の写真アートなど、コンサルティングワークのみならず、実際に各国から植物を集めて韓国に輸入するなど業務は多岐に渡った。

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

VISTA WALKERHILL SEOUL

「人生をかえる旅」と題し、HISと清順が世界の植物絶景を巡るツアーを企画。アメリカ・カリフォルニア州に存在する、世界最古の生命体と言われる樹木「ブリッスルコーンパイン」、世界最大の巨木「ジャイアントセコイア」、世界一高い樹木「レッドウッド」の3つの驚異的な巨木・奇木を一気に訪れるという企画は、ツアー最終日には若者から70代の参加者まで、ほどんどの方が涙するという、まさに「人生や価値観をかえる旅」となった。

HIS「人生をかえる旅」世界一の巨木·奇木を巡るツアー

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

清順が発起人となり、ニューヨーク・ロックフェラーセンターの巨大クリスマスツリーよりも大きな、世界一の高さ（※注）となる全長 30 メートルのあすなろの生木を、富山県氷見市から運び、神戸メリケンパークにクリスマスツリーとして立てたプロジェクト。人類史上最大の生木の樹木輸送として爆発的な話題となり、TV を中心に日本国内だけでなく海外も含め、5 大紙から地元紙まで 100 紙を超える新聞紙面、50 を超える TV 番組、700 以上のウェブニュースとなり数多くのメディアに取り上げられた。25 日間で 141 万人が 1 本の木のもとに集まる、前代未聞の壮大なプロジェクトとなった。

※注：本プロジェクトの「世界一のクリスマスツリー」とは、人工物ではなく、人が届けた生木のクリスマスツリーとして、根鉢を含めた鉢底から葉頂点までの植物体の全長が史上最大、という意味を指します。

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

めざせ！世界一のクリスマスツリー PROJECT ～輝け、いのちの樹。～

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

めざせ！世界一のクリスマスツリー PROJECT ～輝け、いのちの樹。～

2017年末、神戸開港150年を記念して行われた「めざせ！世界一のクリスマスツリーPROJECT　～輝け、いのちの樹。～」のオープニングやクロージングでの祈祷を始め、多大なるご協力を賜った生田神社でプロデュースした子ども向けのイベント。クリスマスツリーのイベントとして140万人を超える来場者を惹きつけたあすなろの木を製材し、境内の生田の森に鎮座する神功皇后を祀った生田森坐社に鳥居を奉納した記念にあわせて開催した。普段はあまり子どもが遊ばない鎮守の杜の中心部を100mもの白い寒冷紗（全部で600m使用）を使って子どもたちが遊べる迷路にし、その迷路の中に様々な遊具や仕掛けを用意した。鳥の巣のようなツリーハウスやハンモック、鎮守の杜の落ち葉で作った落ち葉クッション、ヤシガラでできたブロック、あすなろ材でできた伝馬船はあすなろ材からできたボールプールに。また、「子どもラウンジ」と名付けたドームの中には絵本やお絵かき帳が置いてあり、清順によるオリジナル絵本読み聞かせを行ったり、淡河かやぶき屋根保存会・くさかんむり 代表 相良育弥 氏による、茅葺き屋根のワークショップで秘密基地を作った。どのアトラクションも子ども達に大人気で、普段はできないような貴重な鎮守の森との触れ合い体験を創り出すことに成功した。

生田の森こどもガーデン 2018 presented by そら植物園

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー | 空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

綾瀬はるか氏主演のNHK大河ファンタジー「精霊の守り人」のタイトルバックやオープニング映像のための、植物とそれにまつわるアイデアを提供。ドローイング＆マニュアルの菱川勢一氏が手掛ける先端技術を駆使した3DCGと植物が合わさり新境地を拓いた。オリジナルサウンドトラックのジャケットには、「締め殺しの木」と呼ばれるアコウが登場し、キービジュアルを飾った。

NHK 大河ファンタジー「精霊の守り人」2015 - 2016

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

柴咲コウ氏主演のNHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」のタイトルバックとオープニング映像の監修や、サウンドトラック等の解説を担当。映像クリエイターの古屋遥氏がディレクションするオープニング映像では、「感情移入できる植物映像」をキーワードに直虎に見立てた架空の花が主人公となり、植物の様々な表情や交わり、生きる姿を用いて戦国時代を生き抜いた直虎を表現し、大河ドラマ初となる植物だけを使った映像の制作に成功した。

NHK 大河ドラマ「おんな城主 直虎」2017

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー

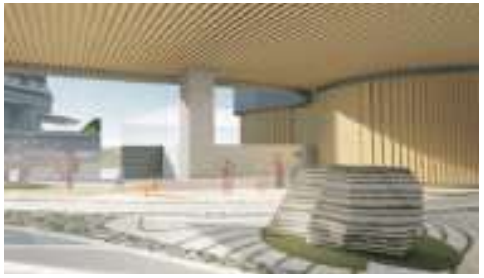
ランドスケープデザイン（造園設計）

各種庭園や公園・緑地計画の造園設計デザイン業務を国内外問わず承っています。

香港の4大デベロッパーの一つ、ヘンダーソンランド・ディベロップメントより大規模な再開発が行われているTai Kok Tsuiにて、複合商業施設 AQUILA SqUARE MILE – THE ARTY GREEN METROPOLISのランドスケープデザインの設計と、施設の象徴的なモニュメントである緑の柱のデザインを請け負った。デザイナーの森田恭通氏の手掛けるインテリアデザインに寄り添い、鳳コンサルタントの協力を経て日本の和の庭の要素を取り入れたモダンなガーデンデザインが完成。さらにはイタリアやオーストラリア、鹿児島などから集めた、香港では通常手に入らない気候に見合った特別な植栽のノミネートや、淡河かやぶき屋根保存会 くさかんむり の相良育弥氏とコラボレーションしたツリーハウスなど、随所にアーティストとのネットワークやグローバルな植栽の物流などでそら植物園らしさを発揮し、海外でのランドスケープデザインの可能性を広げたプロジェクト。

AQUILA SqUARE MILE - THE ARTY GREEN METROPOLIS

ランドスケープデザイン（造園設計）



AQUILA SqUARE MILE - THE ARTY GREEN METROPOLIS

ランドスケープデザイン（造園設計）

中国某所に建設予定の大規模邸宅に、回遊式の築山林泉庭園をテーマとした庭園の基本設計を担当した。
敷地後方に位置する高速道路の景色と騒音を気にする施主の要望を受けて、庭園を斜面状に盛土してその中に水の循環濾過システム機械室を隠し、そしてその上には高木樹林帯を設けて美観と問題解決を同時に実現している。落差を生んだ地形は、それを活かした曲水と滝、鯉がいる池泉を回遊して楽しめるように設計しつつ、目の前に広がる広場を眺められるよう水上デッキを設置、憩うことや過ごし方にも重きを置いている。また、植栽は実際にオーナーや風水師と打ち合わせを重ね、一緒に地元の植木産地を周って選んだり、日本や海外からの輸入素材も含めて意見交換を繰り返し決定するなど、ソフトスケープにもこだわっている。

回遊式築山林泉の庭

ランドスケープデザイン（造園設計）

台湾を代表するテーマパーク、麗寶楽園内にあたらしくオープンしたアウトレットモールの植栽計画をトータルプロデュースした。地中海をテーマに計画されたモール全体のデザインコンセプトを、植栽計画でも本物にこだわって、実際の地中海で使われている樹種やマテリアルを用いて体現した。中でも地中海から台湾初の樹齢約500年のオリーブなどを日本を経由して植栽に成功、注目を集めた。また、エントランスでは既存の木を活かしながらも人の導線の流れを意識し、モール内に人が入りやすいよう誘導できるようなゲートのディレクションに成功した。

麗寶OUTLET MALL

ランドスケープデザイン（造園設計）

Park City Osaki

約3.6haの新しい街、パークシティ大崎。

オーガニックシティという発想を企画立案。

JR山手線内側において、約3.6haもの開発規模に及ぶ市街地再開発プロジェクトに、プランツディレクターとして参画。複数の街区の広場のコンセプトを基本としながら、「有機的」「多様性」を新たなキーワードに加え、「オーガニックシティ」という発想を企画立案。「幸せ」や「繁栄」を象徴するオリーブの大樹をはじめ、個性豊かで潤いのある植物によって彩られた、緑豊かで潤いのある風景の創造をプロデュースしました。

植栽の実施計画において、「有機的」「多様性」というキーワードを提案。

街区の広場の考え方に新しく加えられた「オーガニックシティ」という発想。「オーガニックシティ」とは、まるで有機体のように多様な要素が集まって、それらが必然的関係性を生みながら、1つの生活機能を形成する街をイメージしたものです。もともと計画されていた複数の広場を、多種多様な植物によって彩られた「つのガーデン」とし、それぞれが機能することで、街に彩りと潤いをもたらし、街全体が1つのガーデンとして考えました。

プラントハンターとして、世界各地から集めてきた樹々を提供。

7つのガーデンでは個性豊かなシンボルツリーを計画し、国内外から多種多様な樹木を仕入れています。その中でもオリーブは樹齢600年にもなり、実際に海外の現地に足を運び、一つひとつ丁寧に選んできたものを提供されています。

特殊樹々の植付立ち会いをはじめ、管理方法をアドバイス。

熟練に仕上げられた樹々が並び、植付けの立ち会いを行なっています。また、特殊樹木の管理上の留意事項や、それらに関連する周辺の土壌や病害虫被害で相性の良いものについてもアドバイスをしています。

■「北品川五丁目第1地区」完成予想CG

Park City Osaki

多種多様な植物で彩られた、緑豊かなで潤いのある街づくり。

7つのガーデンをテーマに、街の中心の交差点や入り口にはオリーブ、7つのガーデンにはそれぞれのコンセプトを象徴するシンボルツリーを植樹。
それぞれが、緑の潤いに満ちた独自のコンセプトを表現しています。

街のメインストリート「港区幹線道路3号」に計画された約250mにも及ぶ並木道。二重列植によって、全6種類の常緑樹が植えられるとともに、足元の低木や地被にも複数の樹種を混合。歩いて楽しい緑豊かな街路空間を創造しています。

Creative Labにコンセプターとしても登場。

プランツディレクターやプラントハンターとしてプロジェクトに携わる一方で、分譲マンションの魅力を知っていただこうとコンセプターとして広告にも登場。参加したCreative Labでは、桐島かれんさん、滝沢眞規子さん、青山有紀さん、石口奈々子さんたちとミーティングを重ね、共用空間のコンセプトも提案しています。

プランツディレクター　プラントハンター　コンセプター

西畠清順 Seijun Nishihara

1980年生まれ、明治元年より130年続く、花と植木の問屋「株式会社 花宇」の五代目。21年勤務、特別役員を経て、植物・生産している植物は数千種類、月10数点の植物を扱う。自身はもとより海外からのプロジェクトに合わせ年間2,000件を超える案件に応えている。2012年1月、ひとの心に植物を植える活動"その植物園"をスタート、コンサルティング事業を構え、様々な企業・団体・個人に植物を使ったプロジェクトを多数展開中。著書に「プラントハンター、命を懸けて花を売る」(徳間書店)、「それぞれの植物園」(東京書籍)。

パークシティ大崎
ランドスケープデザイン(造園設計) | 植物卸販売 / プロダクト供給

三井不動産グループが20年かけて計画してきた東京都内最大規模の市街地再開発プロジェクト「パークシティ大崎」の植栽計画をプロデュース。
「オーガニックシティ」というコンセプトを元に、その基本構想から樹種のディレクションを担当。「大崎に住む」＝「Osaki-Live」＝「O-Live」という言葉あそびを元に、平和と繁栄の象徴として街のシンボルツリーをオリーブの木に選定、街の中心となる交差点や街の入り口にも樹齢数百年のオリーブを植樹した。また、街路樹には7種類の異なった樹木を混ぜて植えることであたらしい街路樹のあり方を実現し、街のいたるところに個性的な木や実のなる木、曲がった木、巨木、ストーリーのある木、計画時には海外にあった木などもシチュエーションやコンセプトに応じて提案・供給。流通にのった木を植えてきた日本都市緑化に、あたらしい風をもたらした。

パークシティ大崎

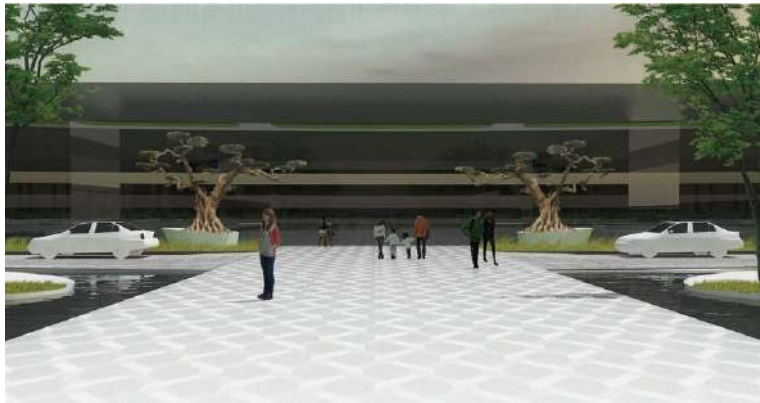
ランドスケープデザイン（造園設計）| 植物卸販売 / プロダクト供給

teamLab, 2017, Interactive Digitized Nature, Sound: Hideaki Takahashi

山口県宇部市が誇る180ヘクタール以上もある広大なときわ公園の中にある「ときわミュージアム(植物館)」「ときわ動物園」のリニューアルプロジェクト。熱意ある現場職員さんたちの要望で参画したこのプロジェクトは次第に発展し、情熱的な市民とともにワークショップを計4回開催し、「どんな植物園になって欲しいか」をテーマに久保田市長のもと2年がかりでみんなで作り上げた。このプロジェクトを受け、清順は「ときわミュージアム　世界を旅する植物館プロデューサー」に就任。各大陸には「シンボルツリー」が植えられ、実際にアフリカから 移植された日本最大級のバオバブや、NHKスペシャルで放送された清順が地球の真裏から持ってきたパラボラッチョなど、他では見られない貴重な植物を見ることができる。また、施設にもともとあった植物を分布大陸別に整理・移植して活かし、館内を一周すると世界を一周旅したような気分になれるような仕組みにした。

ときわミュージアム 世界を旅する植物館

ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事



北京近郊都市にある中国最大の家具メーカー・Huari Furniture の本社兼ショールームのランドスケープデザインを手がけた。
コンセプトを「ターミナルガーデン」と称し、敷地の顔となる 2 ヘクタールの対象地に空港のターミナルの導線をイメージし設計を行った。施設全体をディレクションする原研哉氏の「森の中に入るようなイメージに」という要素を、車の導線を大きく周して車路沿いに並木状に緑を配置することで実現し、なおかつマウントつけることで、園内の外周を回る車からは駐車場の車が見えない構造になっている。森を抜けると遮るものなく水盤の向こうにショールームが劇的に見えるよう計算し設計した。水盤のマウントの数や形状は風水を意識し、配置した。

Huari Terminal Garden

ランドスケープデザイン（造園設計）

香港にてトレンドの最先端をゆく雑誌・MiLKを発行する会社にあるテラスのリニューアルガーデンデザインを担当。
コの字型の敷地を Tropical Lounge、SKy View Area、Zen Gardenとゾーニングし、屋外の打ち合わせ場所、イベントなどで集う場所、働く人が憩う場所としてそれぞれ機能できるようにした。また、ハードスケープのみならず香港の気候を熟知し、それに合う植栽を調達するルートの調査も合わせて、ソフトスケープまでにもこだわった。

MiLK

ランドスケープデザイン（造園設計）

植物卸販売 / プロダクト供給

自社の農場と温室で管理される世界中の植物やオリジナル商品を含めたプロダクトを、季節を問わずお客様のニーズに合わせて提供しています。

デザイナーの原研哉氏を世話人として、未来の住まい方をさまざまな視点から提案する試み、HOUSE VISION。
会場全体のシンボルツリー「芽生える大樹」を、住友林業緑化とともに会場の中央へ提供。世界の歴史の中で、最も長い間、
最も身近に人々の生活に寄り添ってきたであろうオリーブの木を配し、「一本の木を運ぶ」ことで見えてくる、さまざまな
気づきをメッセージとして来場者へ届けた。

HOUSE VISION 2 2016 TOKYO EXHIBITION

植物卸販売 / プロダクト供給 | ランドスケープデザイン（造園設計）

行列の絶えない、こだわりの素材を使用した和カフェの植栽を2店舗プロデュース。
店の名にちなんで、植栽空間に合わせた枝ぶりのモミジを植栽した。

もみじ茶屋

植物卸販売 / プロダクト供給

トレンドを牽引するセレクトショップ、NEPENTHES TOKYOの店舗植栽をプロデュース。

NEPENTHES TOKYO

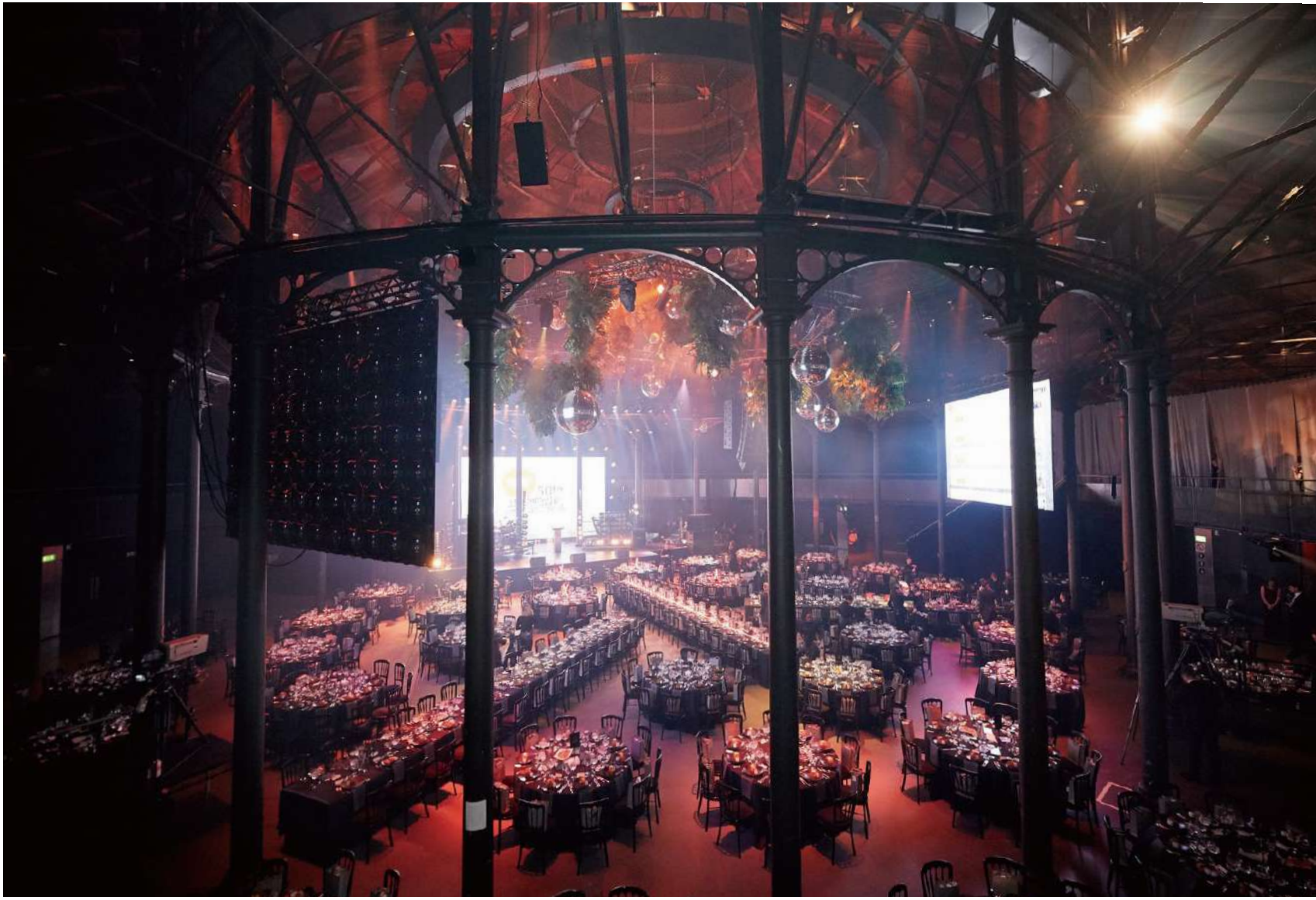
植物卸販売 / プロダクト供給

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

植物による演出や装飾が必要なあらゆるイベントシーン・空間・案件において、プランニングから提案・施工・会期中のメンテナンス・撤収までを一括して承ります。

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

Centrepoint 50th Anniversary



故ダイアナ妃、現在はウィリアム英国王子がパトロンを務めるホームレス支援団体「センターポイント（Centrepoint）」の50周年を記念したチャリティーイベント「Centrepoint 50th Anniversary」で植物装飾のプロデュースを行なった。パーティ会場となったラウンドハウス（The Roundhouse）はジミ・ヘンドリックスやピンク・フロイド、デヴィッド・ボウイなどがパフォーマンスしたことで知られ、鉄道の転車台だった建物をリノベーションした劇場として使われていることを踏まえ、パーティ会場の空中全体に緑が潤うような大胆なイメージを立案。現地のオペラの会場制作チームと協業し世界中から集まったVIPをもてなし、大きな評価を得た。

Centrepoint 50th Anniversary

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

デザイナーの原研哉氏を世話人として、未来の住まい方をさまざまな視点から提案する試み、HOUSE VISION。日本を代表する企業と建築家が参加し、それぞれが多様な住まいのあり方を発表するなか、そら植物園は土・木・水という現代人が最も大切にしなければならない3つの要素を組み合わせた「市松の水辺」を草案し、住友林業、隈研吾建築都市設計事務所とのコラボレーションにより実現した。

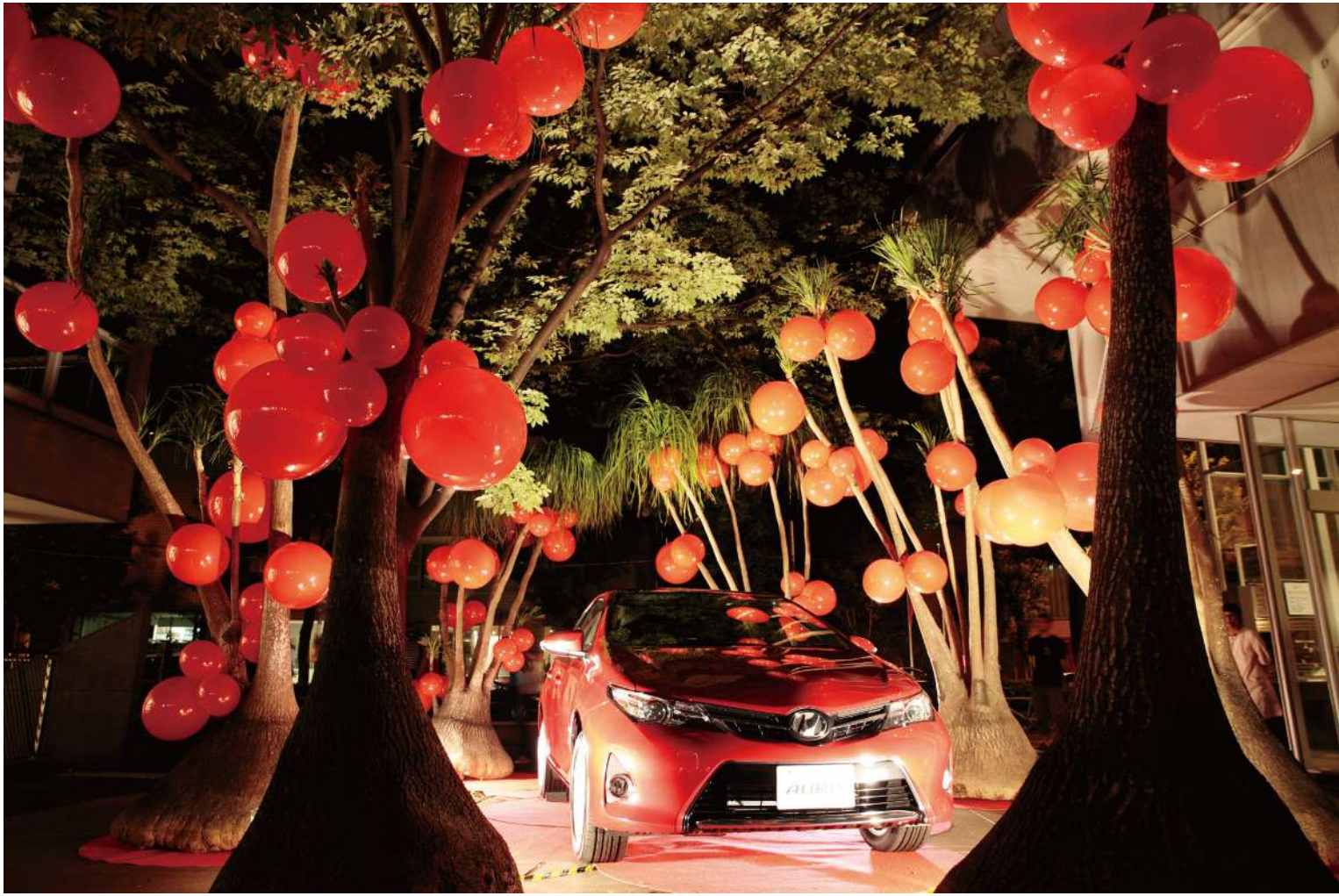
HOUSE VISION 2 2016 TOKYO EXHIBITION 市松の水辺

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

2015年春、北九州を中心に63店舗を展開するホームセンター「グッディ」（嘉穂無線株式会社）が、園芸フェア「グッディ × 西畠清順 WONDER PLANTS FESTIVAL」を開催。一風変わったCM制作にも参画し、グッディ全店舗にて4/17 – 5/10の期間中、そら植物園プランツ販売フェアを行った。また、そのキックオフイベントとして福岡市役所前広場に18m×18mの巨大な迷路をプロデュースし話題となった。
プロモーション期間中の一ヶ月間、グッディ全体としては対前年比で来店率が13%アップ、売り上げが6%（10億円以上）アップし、植物に話題性と集客効果があることを証明したプロジェクトとなった。

WONDER PLANTS FESTIVAL「迷宮植物園」

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾



プリウスなど、エコカー路線で業界を切り開いていたトヨタ（TOYOTA）が、あえて一風変わった新型車・オーリスを代官山ヒルサイドテラスで発表。その際に、コンセプトに見合った植物を一緒に発表したいというミッションのもと遂行されたプロジェクト。代官山アートストリートの一環で企画されたこの展示は、「常識に尻を向けろ」という強いコンセプトに見合う、水と土がなくても半年も生きる砂漠の植物・トックリランを提供し、テーマカラーの赤色で演出した。

代官山アートストリート

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

長野県で開催された日本最大級の花と緑の祭典、第36回全国都市緑化信州フェアのメイン会場にて、「劇団四季展」、「みて、ふれて、つくって『いわさきちひろ・花とあそびの庭』」と並んで特別企画展の制作依頼を受け、「そら植物園・西畠清順による信州産サボテンによるインスタレーション」をプロデュースした。信州は内陸特有の気候で、サボテンの原生地であるメキシコ高原やアンデス山脈の風土を再現しやすく、サボテンの栽培に適した自然条件が備わっていることから、「サボテンにフォーカスした展示を」という主催者の依頼に応えるべく、パビリオン内は360度の鏡張りの空間とし、サボテンを使い無限に広がるようなメキシコの原風景を再現した。使用したサボテンは、サボテンの産地である長野県下伊那郡豊丘村の愛好家の方たちが栽培したもののみを使い、景石や砂利は長野県塩尻市の善知鳥峠の石灰岩を使用し、地元の河川から採取された流木の提供を受けて使用した。また、会場ブースパネルの外壁面は、松本市立菅野中学校の美術部の生徒たちが描いた絵画を貼り、設営には大人から子どもまで70名を超える地元信州の方々を中心としたボランティアスタッフに協力してもらい制作した

第 36 回全国都市緑化信州フェア

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

ハリウッド女優のグウィネス・パルトローが手掛けるライフスタイルブランド「goop」が日本に初上陸し、東京ミッドタウンにできた期間限定のポップアップショップ「goop TOKYO pop-up & café」のガーデンを創作。西洋と日本の植栽を織り交ぜ、「白」をメインカラーとし凛としつつもナチュラルなガーデンを生み出した。

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

goop TOKYO pop-up & café

世界らん展実行委員会が主催し、アメリカ蘭協会（AOS）、英国王立園芸協会（RHS）、世界蘭会議委員会（WOC）も後援する日本の大規模な国際園芸博覧会「世界らん展2019-花と緑の祭典-」にて、シンボルモニュメントとシンボルロードを手がけた。「いままでのらん展を変えたい」という主催者の想いをうけて演出は象徴的なものにしたが、あえて特殊な植物を用いず、あくまで受賞したランを引き立たせることとした。オープニングには高円宮家の長女、承子女王殿下がご高覧になり、会期中には13万人を超える来場者をこの演出で迎えた。

世界らん展 2019 - 花と緑の祭典 -

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

ウェッジウッド展 阪急うめだ本店
シークレットガーデン by ウェッジウッド 伊勢丹 新宿店

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾 | K.商品開発

イギリス王室御用達の陶磁器ブランド・WEDGWOODが、独自の素材である「ジャスパー」を使用した新しい植木鉢・バーリントンポットをリリースするタイミングでコラボレーション。会場となった伊勢丹新宿店のポップアップショップやウインドーディスプレイの空間演出は、「最高の家時間」をテーマに、清順が実際にウェッジウッド本社に招待された際に感じたインスピレーションを元に制作。また、バーリントンポットに合わせたユニークな植物のセレクトなどを行い、完売するなど反響を得た。

ウェッジウッド展 阪急うめだ本店
シークレットガーデン by ウェッジウッド 伊勢丹 新宿店

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾 | 商品開発

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

Sansan Innovation Project 働き方 2020

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

Sansan Innovation Project 働き方2020

熊本市を中心に開催される『第38回全国都市緑化くまもとフェア　くまもと花と緑の博覧会』を記念し、開幕日から５日間限定で熊本市の中心地にあるサクラマチクマモト屋上庭園にて、そら植物園 代表 西畠清順がプロデュースした"感謝のサクラ"が展示された。
令和2年九州豪雨や、平成28年熊本大地震で甚大な被害を受けた熊本市の熊本城や人吉市の人吉城跡より、復興に向けた再整備の中で枯損判定を受け、伐採対象となった桜が提供され、東日本大震災1年後の2012年に復興を祈願し実施した「桜を見上げよう。」Sakura Projectにて、桜の枝を提供頂いた南阿蘇村から、ご厚意に預かり10年ぶりに今回も一部の桜の枝を頂いた。
また、そら植物園と親交のある地元造園業者とのご縁により、熊本地震にて甚大な被害を受け、今まさに復興中の阿蘇神社からも桜のご提供をいただいた。

前代未聞なコロナ禍の中、地震や豪雨からの復興と支援への感謝の象徴として展示された"感謝のサクラ"は現地の方々と交流しながら1本1本丁寧に調達し、開花調整をしたうえで5日間という限られた展示期間の中で満開を迎え、開幕日には、桜の提供にご協力いただいた4自治体の首長と共にお披露目会も実施され、各自治体から復興への感謝と未来への展望が述べられた。

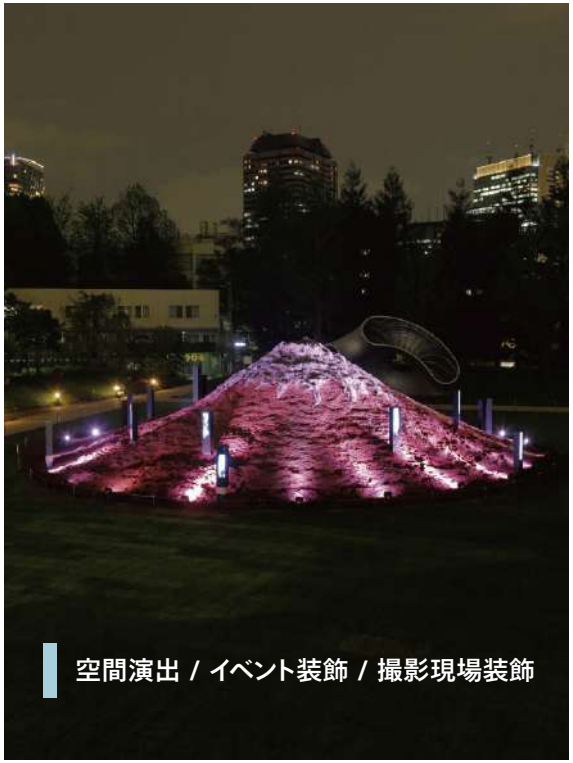
第38回全国都市緑化くまもとフェア "感謝の桜"

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

2014年にバンコクの中心街にあるイギリス大使館跡にオープンした、タイで最もラグジュアリーなショッピングモール、セントラルエンバシー。ハイエンドなブランドショップがひしめくなかで、オーナーがとりわけ力をいれてプロデュースしたソーシャルクラブ・SWILAI CITY CLUBにて、クリスマスのインスタレーションを行なった。レストラン内は、北海道から輸出した白樺を多用し、そこで雪に見立てて制作したコットンボールを配してタイの人が見たことのないような北欧の冬の森を屋内に表現。テラスには、終わりがないことから永遠の象徴とされているクリスマスリースを、タイ国内で調達した数千の着生植物を用いて、3mという巨大なスケールで制作した。

SIWILAI CITY CLUB

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾



空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

東京ミッドタウンの10周年を記念して、「JAPAN, THE BEAUTIFUL」をテーマに日本が世界に誇るシンボル“富士山”のモニュメントを広大な芝生広場に登場させた。高さ約6m、幅約23mのスケールで表現した“富士山”は、街路樹などの選定材をチップ化したバーク堆肥などを使用し製作され、イベント終了後は都市開発の堆肥として再利用された。期間の前半はプロジェクションマッピングを使った演出で「NAKED」が参加、後半は「Rhizomatiks　Architecture」が最新技術を駆使したインスタレーションを行った。

東京ミッドタウン 10 周年記念イベント「江戸富士」

世界の「5大ファッション・ウィーク」の一つ「Amazon Fashion Week TOKYO」期間中にアンダース東京にて行われたディナーパーティーの会場装飾をプロデュース。開催が3月ということで、「一足早いお花見」とAmazonとをかけて、「Amazon見」をテーマに、熱帯地域にある植物や花、満開の桜を使い、世界中からの招待客のみで賑わう1日限定のディナーパーティーの空間をダイナミックに演出した。

Amazon Fashion Week TOKYO 2017

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

2016年の大晦日から新年にかけて、2017年の干支が酉年ということから渋谷の真ん中に巨大な鳥の巣を出現させた。素材である大量の間伐材は、広島県の森林組合と岐阜県飛騨市からの協力により提供された。

KDDI au “Be a Bird!”

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

東京国際フォーラム開館20周年

六本木アートナイト2016のメインプログラムを手掛けた名和晃平氏の作品に、Daisy Balloon とともに参加。「六本木の森で迎える、文化の夜明け」というコンセプトのもと、六本木ヒルズアリーナ、国立新美術館、東京ミッドタウンの3ヶ所を舞台に展開。六本木ヒルズのアリーナでは名和氏の代表的な彫刻である鹿が、旅の果てに「エーテル」に出会うシーンの背景に、世界中の植物でできた森を出現させた。

六本木アートナイト 2016

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

ルイ・ヴィトン 表参道店のリニューアル・オープンを記念して、写真家・映像監督の蜷川実花氏が「江戸のお花見」をコンセプトにパーティ空間をプロデュース。
清順はその会場いっぱいに大きな枝垂れ桜を咲かせた。桜の下で歌舞伎役者の尾上松也氏が可憐に舞うという唯一無二の空間は、招待客を魅了した。

ルイ・ヴィトン 表参道店 春のレセプション

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

東京国際フォーラムで行われた、世界中からVIPが集まった国際眼科学会のオープニングパーティで、大きな桜を咲かせてほしいという依頼に応えて咲かせた桜。日本では50年ぶりの開催であり、このために羽田空港が一時的に増便するなど異例の対応をするほどの大きな学会で、世界134か国から約2万人が集まった。日本からは皇太子殿下がご臨席・ご挨拶された巨大な開会式で、そのパーティーの迎え花となった桜は、大きな話題を呼んだ。世界の人に向けた“おもてなし桜”と名づけられ、清順はそのおもてなし桜の下で英語のスピーチを行った。

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

第 34 回国際眼科学会

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

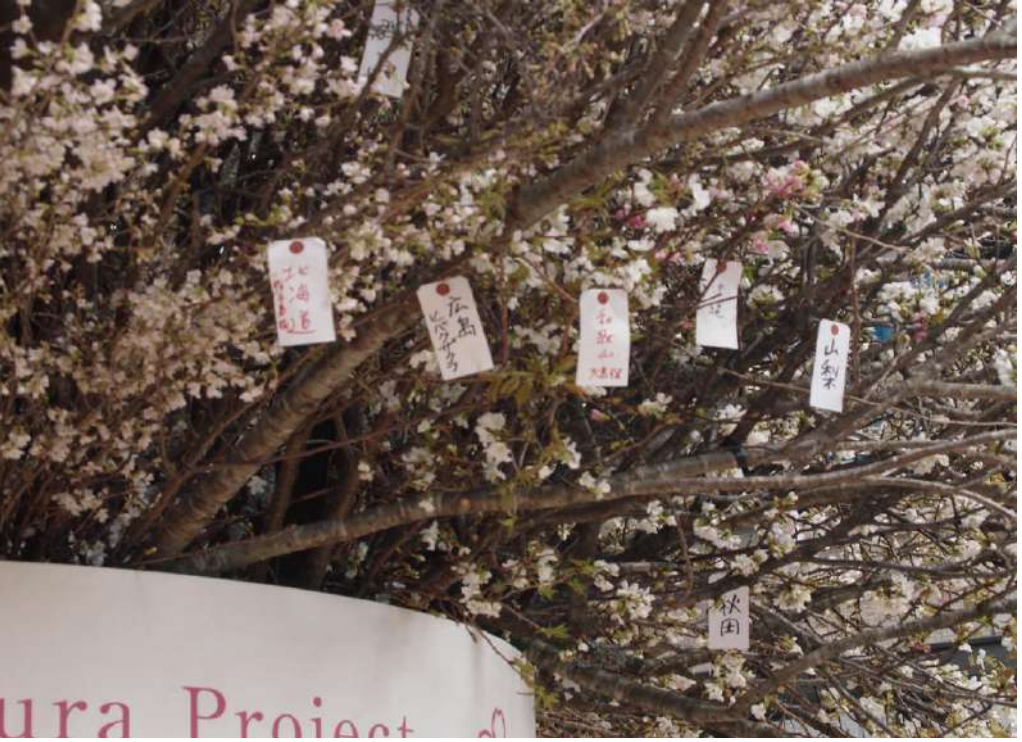
第 34 回国際眼科学会

東日本大震災1年後の春、有楽町ルミネにて都内一早い花見をしたいという依頼を受け、箭内道彦氏らとともに挑んだプロジェクト。復興を祈願し、日本全国47都道府県すべてから桜を集めて咲かせて欲しいという前代未聞のミッションのもと、被災地で津波に耐えた桜はもとより、原爆に耐えた被爆桜の枝を広島市植物公園から、高知県の牧野植物園からは牧野富太郎氏が名づけたセンダイヤという桜、長崎県の大村市からは門外不出の大村桜、京都からは世界遺産銀閣寺の庭園の山桜など、日本中の公共施設、寺院、個人、企業、植物園、大学等に協力してもらい、桜の枝を集めた。そして、それらすべての都道府県から集まった桜をイベントの日にひとつの植木鉢に咲かせ、「日本はひとつ」と大きなメッセージを掲げることに成功し、日本中を駆け巡る大きなニュースとなった。JR東日本企画によると、その広告費用効果は4億円を超えている。全国から数々の感動のメッセージが寄せられ、イベント期間中、桜の下には人が絶えることはなかった。

「桜を見上げよう。」Sakura Project

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾



空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

「桜を見上げよう。」Sakura Project

日経 BP 社が発行したハイエンドな雑誌・DIGNIO の企画で、アートディレクターの安藤夏樹氏のディレクションのもと、世界を代表するエルメスやカルティエなどのブランドが誇る高級時計のテーマに合わせて植物をセレクト。また、文章も提供し、各ブランドからは高い評価を得た。写真は、塚田直寛氏。

「DIGNIO」SPOKES WATCH

空間演出 / イベント装飾 / 撮影現場装飾

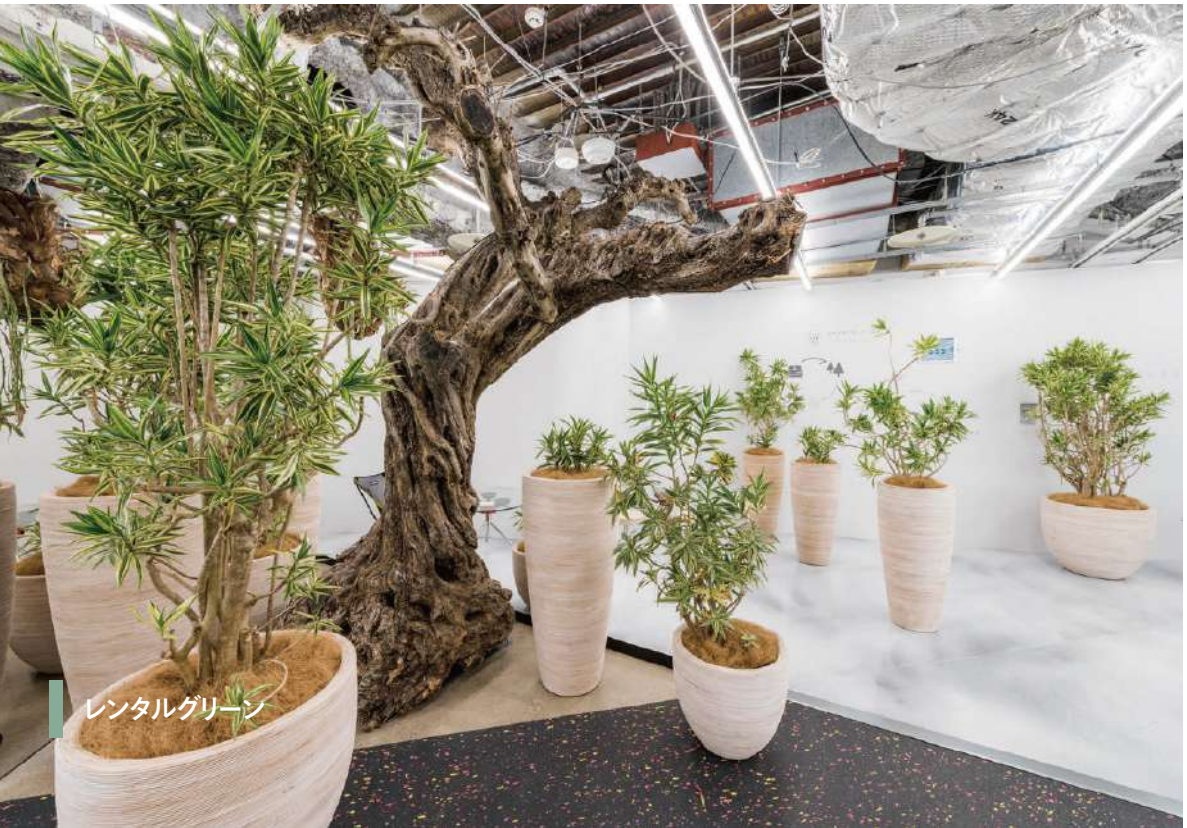
レンタルグリーン

お客様のご要望に応じて貸し鉢サービスを提供しています。

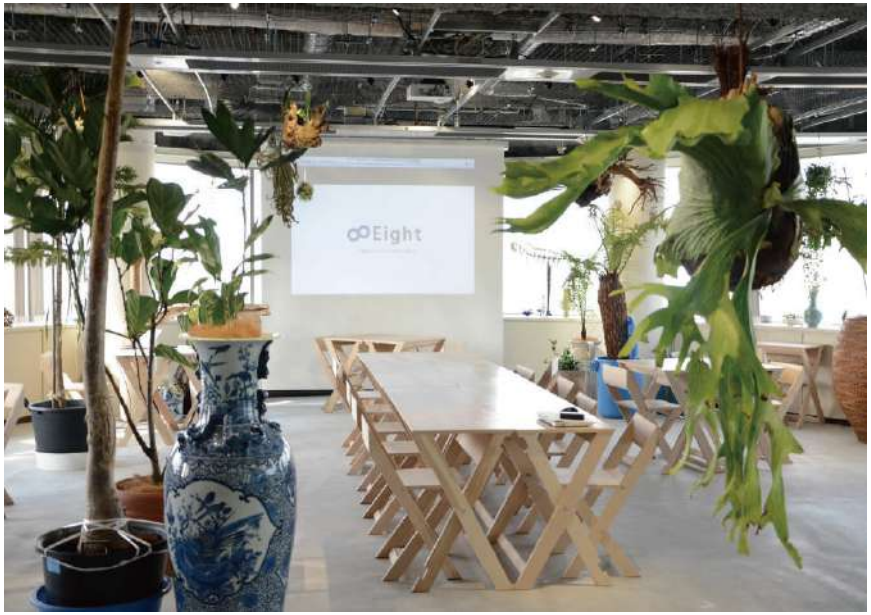
レンタルグリーン

神戸メリケンパークにあるフランク・ゲーリーの建築「FISH」のリニューアルプロジェクト。神戸を代表するレストランTOOTH TOOTHとそら植物園がコラボレーションし、「FISH IN THE FOREST」という名前の「魚が自由に森の中を泳ぐような空間」をコンセプトにしたカフェレストランをオープン、屋内外共に個性豊かな植物があふれる空間を作り上げた。また、期間中カフェメニューでは、そら植物園オリジナルドリンクも楽しめた。

FISH IN THE FOREST TOOTH TOOTH×そら植物園



レンタルグリーン



個性的な植物をセレクトし、企業の共有スペースを緑化するプロジェクト。
第 27 回日経ニューオフィス賞を受賞した。

Sansan 株式会社

グッドマンビジネスパークのトラックドライバーファシリティー2階部分にある休憩スペースの緑化を担当。導線を意識しながらも、みずみずしい緑視率の高い空間かつ、外とは一線を画した静かな空間をコンセプトに、ドライバーという職場と対比した静かで快適なラウンジを完成させた。

レンタルグリーン | ランドスケープデザイン（造園設計） + 施工 / 造園工事

Drivers' Facility

その他

そら植物園では植物に関わる様々なプロジェクトのご依頼をお受けしています。

駐日ジブチ共和国大使館のアホメド・アライタ・アリ大使の要請により、アフリカ最古の森といわれるダイフォレストの森林保全にむけて、
ジプチでの現地調査とアドバイザリー業務を行った。森林が枯れた原因を、軍隊や現地の植物学者とともに調査を行い、
その成果や状況をモハメド・アリ・フメド・ジプチ共和国国民議会議長に直接報告した。

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー | その他

ジブチ共和国 森林再生プロジェクト

和歌山県高野山にある高野山真言宗の別格本山「高野山金剛三昧院」の境内再開発の設計・施工を担当したプロジェクト。
同寺は宿坊であり、ユネスコの世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の構成遺産の一つとして知られている。
また、国の重要文化財である世界遺産「高野山・金剛三昧院」の落慶法要で、清順が日本伝統の献花を披露した。

プロジェクト プロデュース / ディレクション / アドバイザリー | ランドスケープデザイン（造園設計）+ 施工 / 造園工事 | その他

高野山金剛三昧院 落慶法要

OECD(経済協力開発機構)東北スクールの子供たちによる、震災の後に芽生えた桜を、東北の桜のパリOECD本部への植栽するプロジェクト。桜の移植方法へのアドバイザーとして参加した。

ロシアのヴォロネジ州で開催された「グリーンインフラ・ストラクチャ国際科学・実用会議」に出席し、唯一のアジア人スピーカーとして招かれ、都市景観産業の今後の可能性を探るため、日本の伝統的な庭園精神である「おもてなし」について講演を行った。
また、"VIII VORONEZH INTERNATIONAL FESTIVAL OF GARDENS AND FLOWERS "の審査員として参加した。

SORA
BOTANICAL GARDEN Project

そら植物園は「ひとの心に植物を植える」をスローガンに、プラントハンター西畠清順が2012年に立ち上げた活動です。わたしたちの企業名ともなったそれは、創業以来、細分化された植物業界の既存のジャンルや業種にとらわれることなく、生産卸・輸出入・ランドスケープデザイン・造園工事・レンタルグリーン・街づくりや森づくり・イベント演出や空間緑化・植栽管理・商品開発などを通じて、国内外から寄せられる多様なプロジェクトを成功させてきた、それらすべてが一社で通貫してできる唯一の会社です。植物の力を最大化し、ボーダーレスな業務を通じて人々の記憶に残るような植物仕事を成すことをミッションとし、わたしたちはそれを「ひとの心に植物を植える」活動と呼んでいます。

office N seijun

office N seijunは、 西畠清順からとめどなく溢れる 植物の可能性への探究心が、 そのまま会社となったような個人事務所です。プラントハンターとして20年以上、 延べ数百万キロに及ぶ地球上のあらゆる自然環境を 自ら歩んだ旅から得た膨大な経験、 そして1000を超えるプロジェクトを成功させてきたリアルな知識、 独自のあたたかい知恵をもとに、 今日もボーダーレスな舞台で活動を展開しています。

CLIENTS 主な取引先一覧 （実績より）※敬称略

Amazon
ANA（全日本空輸株式会社）
BALLY
BLACKBIRD AUTOMOTIVE GROUP LTD.
CENTRAL GROUP
Centrepoint
FENDI JAPAN K.K.
Gardens by the Bay
Goodman
Goop
Henderson Land Development Company Limited
Lihpao Land
Loewe
Louis Vuitton
New World Development Company Limited
NHK（日本放送協会）
OECD（経済協力開発機構）
Sansan株式会社
SK Group
WEDGWOOD
westbank
アスクル株式会社
カジレーネ株式会社
ケニア大使館
ジブチ大使館
ソニーマーケティング株式会社
ソニー企業株式会社
トヨタ自動車株式会社
ハウステンボス株式会社
パナソニックエナジー株式会社
株式会社JR西日本コミュニケーションズ
株式会社KADOKAWA
株式会社NHKエンタープライズ
株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社シミズオクト
株式会社ユニクロ
株式会社虎屋
株式会社竹中工務店
株式会社中川政七商店
株式会社東京ドーム
株式会社東京国際フォーラム
株式会社日本エスコン
株式会社日本デザインセンター
株式会社日本設計
株式会社博報堂
株式会社毎日新聞
株式会社Entrée
株式会社VALM
京阪電鉄不動産株式会社
国際連合児童基金（UNICEF）
阪急阪神ビルマネジメント株式会社
三井不動産レジデンシャル株式会社
鹿島建設株式会社
住友商事株式会社
住友不動産株式会社
住友林業株式会社
森トラスト株式会社
清水建設株式会社
清水寺
西松建設株式会社
西日本電信電話株式会社
大成建設株式会社
電通ライブ株式会社
東レ建設株式会社
東急株式会社
東急不動産株式会社
東京ミッドタウンマネジメント株式会社
東京建物株式会社
日産自動車株式会社
日本出版販売株式会社
日本緑化企画株式会社
など

CLIENTS of Local Governments 主な取引先 地方自治体もしくは関連する施設を含む 一覧 （実績より）※敬称略

全47都道府県

三条市　上越市　松本市　筑北村　氷見市　三浦市　草津市　京都市　池田市　箕面市　和歌山市
神戸市　川西市　洲本市　姫路市　志摩市　小豆島町　室戸市　宇部市　南阿蘇村　熊本市　など

AWARDS & HONORES 関わったプロジェクト等での表彰実績

2012年
公益財団法人 日本デザイン振興会 / 2012年度グッドデザイン賞
(分類：産業領域のための空間・建築・施設) 受賞
受賞作品：代々木VILLAGE by kurkku
受賞者 ：株式会社KURKKU

2014年 - 2019年
公益財団法人 都市緑化機構 seges社会・環境貢献緑地
「都会のオアシス」認定
認定作品：代々木village by k urkku
受賞者 ：株式会社kurkku

2014年
日本経済新聞社・一般社団法人ニューオフィス推進協会 (nopa)
第27回「日経ニューオフィス賞」ニューオフィス推進賞 受賞
受賞作品：sansan 表参道オフィス
受賞者 ：sansan 株式会社

2018年
公益財団法人 都市緑化機構「第17回屋上・壁面緑化技術コンクール」特定テーマ部門「小規模空間の緑化」都市緑化機構会長賞 受賞
受賞作品：アトレ恵比寿西館空中花園
受賞者 ：株式会社アトリウム、株式会社アトレ、株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所、大成建設株式会社、そら植物園株式会社、イビデングリーンテック株式会社

2019年
兵庫県/第20回人間サイズのまちづくり賞
「花緑部門」 奨励賞 受賞
受賞作品：キセラ川西せせらぎ公園
受賞者 ：川西市

2019年
公益財団法人 日本デザイン振興会 / 2019年度グッドデザイン賞
分類：公共の建築・空間　受賞
受賞作品：都会の中の実験的な「変わり続ける公園」ginza sony p ark (銀座ソニーパーク)
受賞者　：ソニー企業株式会社、ソニー株式会社
※

cool japan award 2019
【一般部門】インバウンドカテゴリー 受賞
受賞作品：神勝寺 禅と庭のミュージアム
表彰者 ： 神勝寺

2020年
インダストリー・フォーラム・デザイン・ハノーファー（if）
if デザインアワード2020
分類：建築 金賞 受賞
受賞作品：ginza sony p ark（銀座ソニーパーク）
受賞者 ：ソニー企業株式会社、ソニー株式会社
※

2021年
第40回 ディスプレイ産業賞
商業・複合施設部門 受賞
受賞作品：dmmかりゆし水族館
受賞者　：株式会社dmm resorts

2022年
第35回日経ニューオフィス賞
近畿ニューオフィス奨励賞 受賞
受賞作品：ntt west i-campus a棟・quintbridge
受賞者　：西日本電信電話株式会社

※西畠清順が植栽計画をプロデュースし、日販グループホールディングス株式会社、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社、そら植物園株式会社の合弁会社である日本緑化企画株式会社がパートナーとして参画

ORIGINALITY - そら植物園のオリジナリティ

世界の植物を適切な環境で管理生産する自社農場の存在、そして、植物に関する知識と経験を活かしつつ案件ごとにオリジナルの計画を提供するきめ細やかな姿勢が、そら植物園ならではの強みであり、信頼と品質の礎となっています。

設計事務所と農家とのハイブリッド

実際に日々植物に向き合い、育て管理するため汗を流しているスタッフたちの姿が物語るのは、単なるデザインや設計など机上だけの仕事だけで終わらせない、当社の生き物を扱う会社としての自覚と専門性、そして責任感です。

造園工事用プランター植栽在庫数日本一

工事が決まった時のみ必要な木だけ仕入れて庭作りをするという造園業界のセオリーを覆し、ほとんどの現場において自社在庫の植物を使って庭を作ります。当社がこだわるのは、植えたあとの補償や将来性です。また、大径木もプランター管理していることで、難しいとされる夏場の工事や急な樹木供給、イベントへの貸し出しなどにも柔軟に対応しています。

近年の新樹種を広めたパイオニア

例えば、古木オリーブや耐寒性のヤシ、造園用の多肉植物、その他貴重な植物など、その時世間では認知されてなかった植物素材を、20 年ほど前から導入に着手し日本に広めたことで今日の園芸業界に大きな影響を与えています。

信頼できる価格提供

園芸花卉業界の流通において最も川上に位置する、素材を導入する輸入業から養生 / 生産をする農家、そして卸問屋をベースにした企業だからこそ、信頼できる低価格での植物の提供を可能にしています。

プロジェクト単位でかならずオリジナルな植栽計画を提供

コピーアンドペーストワークが多い造園設計・貸鉢業界において、常にクライアントの理念やプロジェクトのコンセプト、対象地の歴史や背景をスタディし、プロジェクト単位で担当者をアサインして丁寧なヒアリングや調査、時にはアンケートを行い、都度オリジナルのプランを提案しています。

ORIGINALITY - そら植物園のオリジナリティ

科学的エビデンスを用いた効果的な緑化の提案

バイオフィリックデザインや脳科学の観点、医師の監修を踏まえて科学的エビデンスとともにプロフィットのある緑化のご提案をしています。

時代にタイムリーな well-being アクション、ESG 経営のための具体的な施策やその実現をサポート

働く方のために、職場のウェルネス機能を向上させオフィス価値を高める、オフィス植栽を導入頂いた企業に対し、植栽管理のレクチャーを行ったりワークショップを開催するなど会社の環境向上及び働く方々の意識醸成に向けたサポートも行っています。

手がけたプロジェクトの社会的評価、クライアントによる高い満足度

そら植物園ではクライアントの満足度とリピート率が高く、また、これまでに関わったプロジェクトは国内外の様々な賞を受賞しています。

自然に、当たり前に、行ってきた地域貢献

創業以前に始まり、10 年以上続く代表と地元の障害者支援施設の方々との協業や毎年の恒例となった多数の地元中学校による 1 週間の職業体験、その他保育園小中高の学生とのアクティビティなど、地域との繋がりは多岐に渡ります。

無限に広がる提案内容、コラボレーション

プロジェクト単位で必要に応じてコラボレーションする建築家・アーティスト・クリエーター・デザイナー・タレント・文化人・様々な職人・農家・専門業者との協業も大きな特徴の一つです。

About Seijun Nishihata - 西畠清順について

Seijun Nishihata

西畠清順

株式会社 office N seijun 代表取締役
そら植物園株式会社 代表取締役

日本各地、世界中を旅してさまざまな植物を収集し、国内外の政府機関、企業、王族貴族など、様々な依頼やプロジェクトに応じて植物を届ける現代のプラントハンター。
2012 年、“ひとの心に植物を植える“活動・そら植物園を設立し、いまでは年間 200 トン以上もの植物の国際取引を行い、不動産開発におけるランドスケープ案件や森づくりなどの緑化、企業の広告案件から数々のイベントやアートプロジェクトなど、累計 1000 件を超える多様な案件を成功に導き、業界に旋風を巻き起こしている。
近年では“植物のあらゆる可能性に挑戦する企画会社 "、office N seijun を創業し、自然や環境分野をベースに数々のコンサルティング業務を請け負い、植物に関連する多様なベンチャー会社を立ち上げるなど、ボーダーレスな活動を展開している。

受賞歴

2014	川西市市民文化賞 受賞
2015	日経ビジネスオンライン、リシュモン ジャパン カルティエ CHANGEMAKERS OF THE YEAR 2015 受賞
2023	Forbes JAPAN「カルチャープレナー30」選出

就任歴

2014 - 2021	兵庫県川西市 キセラ川西まちづくり大使
2015 -	パークシティ大崎 プランツディレクター
2016 -	大阪府池田市 テーマパーク構想 ディレクター
2016 - 2017	九州国立博物館 フィールドミュージアム等将来構想策定委員
2017 - 2022	山口県宇部市ときわ公園 ときわミュージアム世界を旅する植物館プロデューサー
2018 -	日本緑化企画株式会社 顧問
2018 - 2019	NGOピースボートエコシップガーデンプロデューサー
2019 - 2021	新潟県三条市「造園業の一番星育成事業」企業コンサルティング 育成事業実施の講師
2019 -	株式会社VALM アドバイザー
2022 -	日本興業株式会社 アドバイザー
2022 -	ニッコー株式会社 アドバイザー
2022 -	神山まるごと高専 起業家講師
2023 -	富山県氷見市「きときと魚大使」
2023 -	Habitat株式会社 アドバイザー

About Seijun Nishihata - 西畠清順について

主な対談・共演者（敬称略）

九重親方	(元横綱・千代の富士)	堂本剛	(アーティスト)
ビートたけし	(芸人)	中田英寿	(元サッカー日本代表)
村上龍	(作家)	のん	(女優)
又吉直樹	(芸人)	小林武史	(音楽プロデューサー)
岡田准一	(俳優)	箭内道彦	(クリエイティブディレクター)
糸井重里	(コピーライター)	ももいろクローバーZ	(アイドル)
マツコデラックス	(コラムニスト)	三國清三	(料理人)
三浦市をん	(作家)	たむらけんじ	(芸人)
猪子寿之	(メディアアーティスト)	滝沢眞規子	(モデル)
古舘伊知郎	(キャスター)	村主康瑞	(大本山中山寺名誉管長)
蜷川実花	(写真家)	野口健	(アルピニスト)
ムツゴロウ	(動物愛好家)	珠寶	(花士・元銀閣寺花方)
細川護熙	(政治家 元首相)	志村ふくみ	(染色家)
いとうせいこう	(作家)	安住紳一郎	(アナウンサー)
千宗屋	(武者小路千家15代家元後嗣)		

ほか多数

著書・関連書籍

プラントハンター
2011年 徳間書店

そらみみ植物園
2013年 東京書籍

教えてくれたのは、植物でした
2015年 徳間書店

はつみみ植物園
2016年 東京書籍

台湾版 そらみみ植物園 [海外]

2017年 啓動文化

中国版 そらみみ植物園
不可思议的无花果，和关于它的幻想 < 中国語 簡体字版 >
2019年 新星出版社

著書・関連書籍

「桜を見上げよう。」Sakura Project 2012
2012年 MATOI PUBLISHING

プラントハンター 西畠清順
2015年 小学館クリエイティブ

THE GARDENS OF EDEN
2020 年 gestalten [海外]

主な出演番組（順不同）

- NHK スペシャル / NHK
- 情熱大陸 / 毎日放送
- 日経スペシャル ガイアの夜明け / テレビ東京
- 課外授業 ようこそ先輩 / NHK
- 世界一受けたい授業 / 日本テレビ
- カンブリア宮殿 / テレビ東京
- NHK ニュース おはよう日本 / NHK
- たけしのニッポンのミカタ / テレビ東京
- 世界まる見え！テレビ特捜部 / 日本テレビ
- とくダネ！ / フジテレビ
- あさイチ / NHK

ほか多数

主な掲載誌

連載

趣味の園芸
2012 年 4月 - 2014 年 4 月 NHK 出版

ざ・いけのぼう
2014 年 12 月 - 2015 年 12 月 日本華道社

DAIKIN web
202 3 年 12 月- ダイキン工業株式会社

MOMENTUM
2012 年 7 月 - 2018 年 3 月 日経 BP社

読楽『毒学』
2021年 1月 - 2022年 12 月 徳間書店

そら植物園とは ひとの心に植物を植える活動名です。

そら植物園 代表 西畠清順